

日モザンビーク相互成長支援パッケージ

基本方針

TICADVのコミットメントの具体化として、モザンビークの北・中西部の資源(天然ガス・石炭)を背景とした発展可能性に着目し、①モザンビーク自身による資源開発と活用に向けた人材育成を含む取組、②同地域の大動脈であるナカラ回廊全体の開発を目指した総合開発支援を実施する。
日本の官民全体でモザンビーク経済全体の底上げし、持続可能な成長を促進する。

支援パッケージ

1. 資源分野支援

天然ガス・石炭開発に焦点を当て、モザンビーク経済の底上げにも配慮し、以下の支援を実施。

(1)天然ガス・石炭開発推進に向けた取組:「日・モザンビーク天然ガス・石炭発展イニシアティブ」

①天然ガス

- ・LNGビジネス(下流含む)やLNGアジア市場に関する理解促進のための対話の実施
- ・JBICによる本邦企業が参画するLNGプロジェクト実現に向けた支援
- ・LNG研修及びプラント建設等の関連人材育成の実施

②石炭:「モザンビーク石炭産業発展5カ年プラン」の着実な実施

- ・石炭開発の専門家育成(人材育成)の拡充
- ・石炭賦存地域の埋蔵量を確認するための地質調査の実施
- ・産炭地域における石炭関連産業育成についてのプラン策定

(2)人材育成

資源開発のポテンシャルに着目して、①資源開発、②資源を利用した産業開発、③資源環境対策に関して、**5年間で300人以上の人材育成**を行う(注)。ABEイニシアティブも積極的に活用。(注)上記(1)の人材育成を含む

2. ナカラ回廊総合開発支援

資源開発は、地元には格差、環境問題を生じやすい。社会インフラ整備、環境対策、人間の安全保障の観点から、ナカラ回廊を中心に、道路、港、エネルギー、環境、保健、教育等を含めた総合的開発のために、**5年間(2013－2017年)で約700億円のODAの支援**を実施。